

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 奥出雲町立布勢小学校 ～

1. 概要

5月31日(水)、奥出雲町立布勢小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、地元の遺跡や奥出雲町の古墳について、県埋蔵文化財調査センターの職員から話を聞きました。奥出雲町にはたくさんの遺跡や古墳があることを知り、地元の歴史の理解が深まりました。

その後は、地元の古墳見学に出かけ、本物の石室の中に入って話を聞きました。初めて石室に入り、当時の人々の考えや技術に思いを巡らせました。

2. 様子

1) 奥出雲町・布勢小周辺の遺跡について理解を深める。



「奥出雲町にもこんなにたくさん遺跡があったんだ！」

2) 地元の古墳見学 ～ 八代穴観1号墳を探検～



「近くの山にこんな前方後円墳があったとは…」



「奥に広い部屋があって涼しいぞ！」

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・古墳が八代や布勢にもたくさんあることを知ることができた。
- ・古墳の形や大きさでどのくらい偉い人かがわかることを知れてよかった。
- ・玄門が珍しい形であることや、玄門があの世界とこの世界の境目だということが心に残った。
- ・石室の奥の方は、思っていたより広く、すずしかった。
- ・どうしてあんな高いところに古墳をつくるのか、どうやって石を運んだのかが気になった。
- ・昔の人が力を合わせて、協力して大きな石を運んだことが伝わった。
- ・どうやって古墳をつくるのかもっと知りたくなった。
- ・1つの古墳に2人入れることがあるのか知りたい。
- ・奥出雲町で一番大きい石室がある岩屋古墳にも行ってみたい。石室の大きさを比べてみたい。

2) 担任の先生から…

- ・身近な遺跡について詳しく知ることができた。特に石室の中に入れたことがよかった。
- ・古墳時代についても、スライド資料で分かりやすく知ることができた。
- ・歴史の学習が始まった時、子どもたちの反応が楽しみです。
- ・現地までの移動手段がネックでしたが、対応していただきありがとうございました。

3) 埋文センターから

歴史の授業は来月から始まるため、今回の内容は予習となりましたが、古墳についてとても興味関心が高く、しっかり理解していた様子でした。古墳の石室に入るのは初めてでしたが、隅々まで見渡して積極的に質問してくれました。

最後のまとめでは、質問や感想発表のレベルが非常に高く、こちらが驚いてしまうほどでした。非日常的な体験活動となり、本物だけが持つ魅力から地元の歴史をより一層身近に感じることができました。